

「原子力耐震・構造研究センター」を設置し、世界最先端の研究を実施します

東京電力株式会社と独立行政法人原子力安全基盤機構と本学との三者協定を締結

このたび、新潟工科大学は「原子力耐震・構造研究センター(※)」を設置し、原子力耐震構造等に関する研究活動を展開していくこととなりました。平成19年7月に発生した新潟県中越沖地震を契機に原子力発電所の耐震性に対する懸念が高まりました。地震国である我が国にとっては、原子力施設に関する高度な信頼性と耐震設計・保守に関する革新的技術は、喫緊に取り組むべき課題であります。

これらの課題に対応するべく、東京電力株式会社「産」、独立行政法人原子力安全基盤機構「官」、本学「学」との産官学連携により、原子力安全に係る耐震・構造等の分野の最先端の研究を実施します。

これらの研究活動を通して原子力の安全確保に関する技術の発展に貢献するとともに、関連する産業の発展に寄与していきたいと考えております。

※経済産業省の平成21年度産業技術研究開発施設整備費補助事業の採択を受け、大学構内に「原子力耐震・構造研究センター」を設置します。(本年3月に着工、同年11月に竣工)



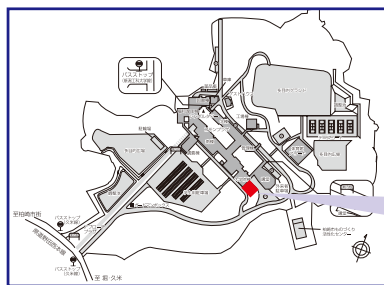
三者協定締結の様子

平成21年12月24日に東京電力株式会社、独立行政法人原子力安全基盤機構及び本学の三者が原子力耐震・構造研究拠点の運営等に関する連携協定を締結し、研究協議会が開催されました。協定は、これまで三者がそれぞれに培ってきた専門的な研究や技術の蓄積を活かし拠点における研究等を推進すること、三者相互の連携と協力を強化することを目的としております。

連携事項

- (1) 原子力安全に係る耐震・構造等の分野の最先端研究の実施。
- (2) 原子力安全に係る耐震・構造等の分野の最新知見及び研究成果の情報共有、並びに情報発信。
- (3) 原子力安全に係る耐震・構造等の分野及び関連分野における人材育成。
- (4) 原子力安全に係る耐震・構造等の分野及び関連分野における産業の技術力向上への貢献。
- (5) 原子力安全に係る耐震・構造等の分野における国際研修や国際シンポジウム等の実施。
- (6) 国際原子力機関 (IAEA) 等との原子力安全に係る耐震・構造等の分野における連携。

原子力耐震・構造研究センター設置場所・設置イメージ図



3次元CAD講習会を開催しました

本学地域産学交流センターの主催において、企業の技術者を対象とした「3次元CAD講習会」を平成21年8月19日～21日の3日間に開催しました。

本講習会は、長引く景気低迷の影響を受けて奮闘される地域企業の方々に新たな企業力として重要と考えられる3次元CADの技術習得と技能向上を目指して「雇用調整助成金」の教育訓練として実施しました。

講習は、「SolidWorks」という3次元CADソフトを使用しその入門編を行いました。定員を超える21名から受講頂きましたが、その半数が3次元CAD未経験者ということでした。

本講習を通して地域企業の皆様のさらなる発展に寄与できれば幸いです。



講習会の様子